

第16回

伝統文化のつどい

御陣乗太鼓保存会

令和7年10月25日(土)

開演14:00(開場13:30)

パレア若狭音楽ホール

若狭町市場18-18 TEL.0770-62-2508

入場無料
(全席自由)

入場整理券が必要です
※配布はおひとり様5枚まで
※無くなり次第終了

〈入場券配布開始日〉9月26日(金)

〈入場券配布場所〉

- 若狭三方縄文博物館
- パレア若狭チケットカウンター

HAPIPO

会場でHAPIPO(ハピポ) 50ポイント 取得できます。

ハピポ
2025

主催／若狭町伝統文化保存協会・若狭町歴史環境講座企画運営委員会 協賛／関西電力 power with heart

【お問い合わせ先】 若狭町歴史文化課(若狭三方縄文博物館内) 〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1 TEL.0770-45-2270

御陣乗太鼓保存会

御陣乗太鼓の発祥の地である石川県輪島市名舟町は、現在、世帯数約70戸、人口約250人の小さな小さな町です。その中で約20名の打ち手が御陣乗太鼓の選手として活動しています。

天正4年(1576年)越後の武将上杉謙信は能登の巨城であった七尾城を攻略し、その余勢をかって名舟村にも攻めてきました。狩猟に用いる槍以外武器らしきものもない名舟村の村人たちは、村の古老の知恵者の指示に従って、樹の皮を剥いで仮面を作り、海の子海藻を髪の毛とし、そして敵の寝静まっているところに夜襲をかけ、夜陰に乗じて仮面を被り海藻の髪を振り乱しながら太鼓を打ち鳴らし上杉勢に攻め入りました。上杉勢は思いもよらぬ怪物の夜襲に恐れおののき退散したと伝えられています。

現在、石川県指定無形文化財に指定されています。

